

紀文食品 井尻野に工場建設

2006

井尻野地内で株式会社紀文食品（本社：東京都中央区）の食品加工工場の建設が始まった。

工場が建設される場所は、山崎製パン岡山工場の南側で国道180号と高梁川との間に広がる約9haの土地。紀文食品では、総社工場（仮称）建設の起工式を5月26日に実施。来年4月の操業開始を目指している。

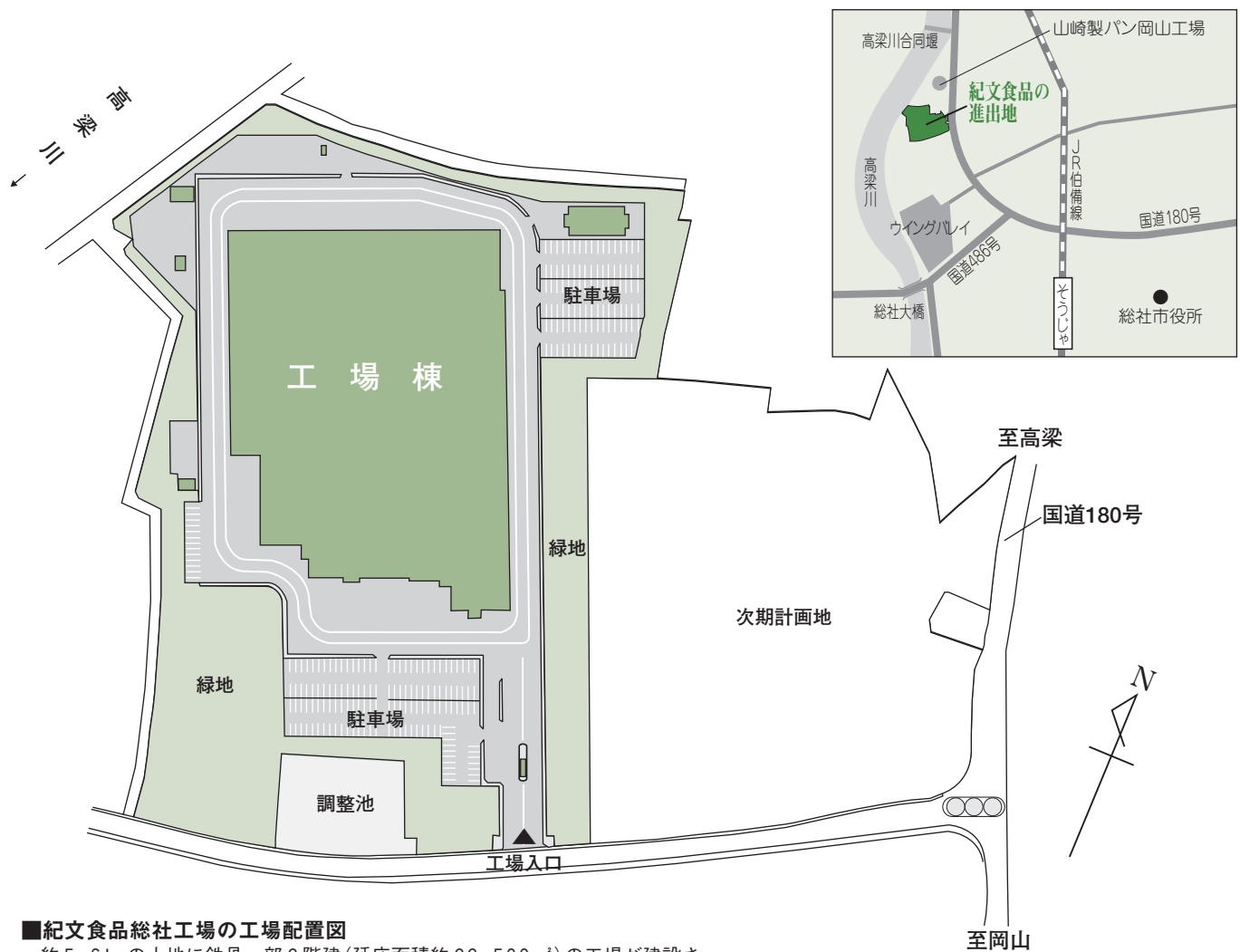
紀文食品の進出は、市が取り組んできた企業誘致活動の一環。発端は平成元年11月、市に進出したという話があったことだ。その後、紀文食品は土地を購入し、平成5年末には造成工事を完了。そのころから、市は早期の進出を幾度となく要請していた。

平成8年、建設計画書が市に提出され、紀文食品側ではこれ以降、進出の準備が進んだ。工場の配置

計画を見直し、物流機能も兼ね備えた西日本地区の供給拠点として、総社への進出となった。

建設される総社工場（左のページの図のとおり）は、延床面積約2万2500㎡の広さをもつ。食品の製造工程に国際衛生基準（HACCP）の導入と、ISO9001により、安全面や衛生面にも配慮したものになる。また、見学者のための施設も設けられる予定だ。

1989



■紀文食品総社工場の工場配置図

約5.6haの土地に鉄骨一部2階建（延床面積約22,500㎡）の工場が建設される。東側の約3.3haの土地は次期建設予定地

紀文食品（きぶんしょくひん）

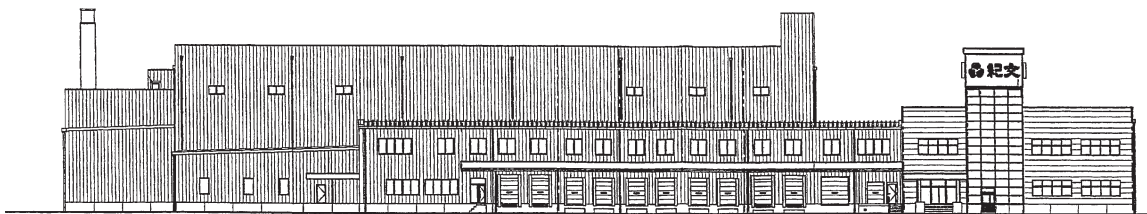
水産練り製品を主体とした総合加工食品の製造・販売をする会社。創業は昭和13年。資本金44億2,580万円（平成16年7月末）。平成17年3月期の従業員数約1,300人、売上高約668億円。8支社、1事業部、7工場を保有。ISO9001・14001を取得。日本、アメリカ、ヨーロッパで国際衛生基準（HACCP）の認定を得ている。

問い合わせ 企業誘致対策室
☎ 028279

いた。そして、この工場の操業により、新たな雇用が生まれ、市内の経済の活性化につながるものと期待されている。

※国際衛生基準（HACCP）
食品の製造工程で発生する危害を分析し、その危害を抑え込む方法を決め、その方法を継続的にチェックすることで、安全な食品を作り出すもの。

井尻野地内へ紀文食品の進出が決まった。来年4月の操業開始を目指しており、市内の産業の活性化が期待されている。



工場を南側から見た完成予想図



紀文食品が進出する井尻野地内の土地。写真後方が総社市街



5月26日に行われた起工式で、くわ入れを行う紀文食品の保寿社長